

枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和7年(2025年)5月14日(水) 午後7時00分～午後8時25分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約20名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、
教育政策課長、上下水道総務課長、市立ひらかた病院総務課長、
書記(人事課・職員課 課長代理)
4. 課 題 「2025年夏季一時金等に関する要求書」及び「2025年夏季重点要求書」に
基づく交渉(1回目)

<交渉内容要旨>

I. 基本姿勢について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法遵守の考え方について、改めて確認する。 ・ 勤務労働条件については労使合意を基本とするという認識に変わりはないか。また、山場に向け、雇用者責任を果たすという立場で交渉に臨むのか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法遵守の立場に変わりはない。 ・ 労使合意が基本との姿勢に変わりはない。山場に向け、雇用者責任を果たす立場で誠意をもって臨んでいく。

II. 生活改善について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none"> ・ 組合員へのアンケートでは、暮らし向きが苦しい・やや苦しいとの回答が73%もあり、食費や光熱水費を削減しており、家族の健康に影響しかねないという声もあった。物価上昇を上回る賃金の改善が必要と考えるが、このような生活実態について、どのように認識しているのか。 ・ 中高年層については、55歳での昇給停止や、定年延長に伴い60歳から賃金が70%支給になるなど、若年層が将来を見通す中で、不安を感じる処遇内容である。特に、再任用職員の一時金支給月数が正職員の半分であることなどについては、処遇改善が必要と考えるが、どのように認識しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの結果は組合員の皆さんの切実な思いと受け止めている。昨今の物価上昇など、社会情勢が大きく変動しており、一定の改善が必要であると認識している。 ・ 再任用職員の給与については、国公準拠を基本とした制度構築を行っているが、処遇改善に向け、今後も国に働きかけていく。

Ⅲ. 人員体制について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">組合員へのアンケートでは、人員が不足していると回答した割合が53%であった。これは昨年を上回る率である。産育休者の代替については正職員の配置を求めており、令和6年度から弾力的な配置を行っていくということであったが、どのような状況であるのか。病休者や年度途中で退職者の発生により、人員が不足している状況が続き、職場は疲弊している。このような状況について、当局はどのように認識しているのか。	<ul style="list-style-type: none">一部の職種については正職員による代替配置を行ったが、想定外の退職者数の増加により、当初に見込んでいた正職員の代替配置が困難な職種もあった。令和6年度の普通退職者及び定年前早期退職者については、想定を上回る数であったことから、在職者の離職防止や人材確保について、何らかの手立てを講じる必要があると考えている。

Ⅳ. 職場環境について

組 合	市
<ul style="list-style-type: none">時間外勤務時において、空調の稼働がなく、職員は室内であっても高い気温の中で執務している。先般、厚生労働省から、熱中症対策の強化に関する文書が発出されているが、職員の健康確保について、どのように考えているのか。	<ul style="list-style-type: none">本庁舎においては、始業前と終業後について各1時間、空調を稼働させるとともに、繁忙な部署からの稼働の要望についても柔軟に対応している。